

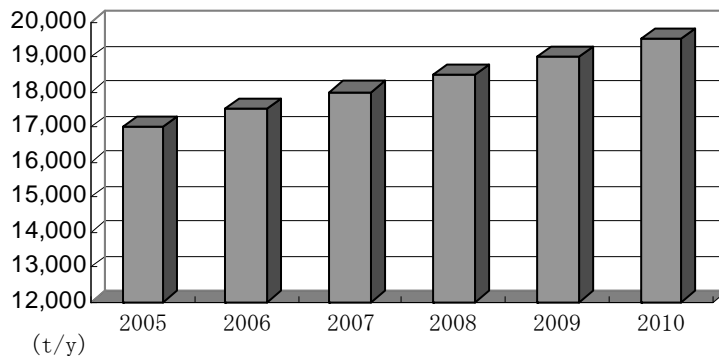
N-メチル-2-ピロリドン（別名：1-メチル-2-ピロリドン、N-メチル-2-ピロリジン）

既存化学物質番号	5-113	CAS No.	872-50-4	化学式	C ₅ H ₉ NO
----------	-------	---------	----------	-----	----------------------------------

メーカー名	三菱化学(株)	生産開始時期	1971年
本社所在地	東京都港区芝 4-14-1	Tel. 03-6414-3000	
生産工場	水島工場	生産能力	20,000t/y
		増設計画	現段階で増設計画はない

原材料製法	<p>○1,4-ブタンジオールの脱水素化あるいは無水マレイン酸の水添で得たγ-ブチロラクトンとモノメチルアミンを高温高压下で反応させる。</p> <p>○N-メチル-2-ピロリドンはラクタム構造を含む5員環の構造を持つ有機化合物で極性溶媒の一つである。</p>
-------	--

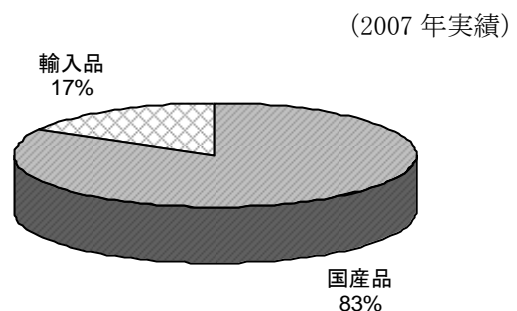
国内市場規模 (2007年実績)	数量	18,000(t/y)	金額	15,000(百万円/y)
---------------------	----	-------------	----	---------------



年次	国内需要推移			国内需要予測		
	2005	2006	2007	2008	2009	2010
需要量(t/y)	17,000	17,500	18,000	18,500	19,000	19,500
対前年比(%)	—	103	103	103	103	103

需要推移・予測の要因	<p>○高い溶解性を持つため、特に高分子化学の分野を中心に様々な物質に対する溶媒として使用されており、対前年比3%前後の伸びで好調に需要拡大している。</p>	<p>○今後も様々な分野で好調に推移して行くと予測され、年率3%前後の伸びで推移して行くと思われる。</p>
------------	---	--

	数量 (t/y)	構成比 (%)
国産品	15,000	(83)
輸入品	3,000	(17)
合計	18,000	(100)

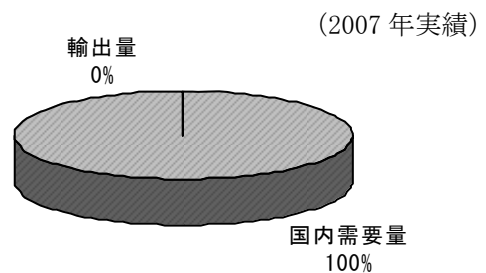


輸入ルート	
○BASF(ドイツ)→BASF ジャパン ○ライオンデルケミカル(米国)→日本オキシラン ○ISP→ISP ジャパン ○中国→ハイケム、三木産業 ○タミンコ(ベルギー)→不明	

国内メーカーが1社である理由	○原料となる γ -ブチロラク톤の調達に難しい、コストメリットがないなどから他社が参入するには難しい市場である。
----------------	---

ニューカマーの動向	○原料調達が難しい、コストメリットがないなどから新規に他社が参入するには難しい市場であるため、現状ではニューカマーは出現していない。
-----------	--

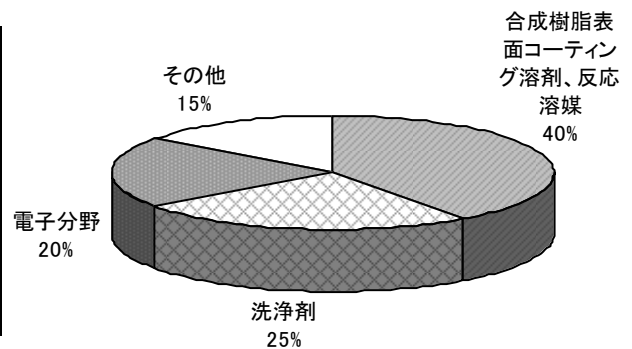
	数量 (t/y)	構成比 (%)
国内需要量	18,000	(100)
輸出量	—	(—)
合計	18,000	(100)



備考
○輸出は行なわれていない。

(2007年実績)

	用途	構成比 (%)
国内における用途別需要比率	・合成樹脂の表面コーティング溶剤、反応溶媒	(40)
	・洗浄剤	(25)
	・電子分野	(20)
	・その他	(15)



備考
○化学分野では抽出剤(アセチレン、BTX、ブタジエン)、合成樹脂の表面コーティング溶剤、反応溶媒(PPS、ポリイミド、レジストなど)に使用されている。
○洗浄剤用では光学、金属(部品)洗浄、塗料剥離、自動車分野での成形金型洗浄などに使用される。
○電子分野ではワックス、フラックス、バリ除去、プリント基板の製作などに使用される。
○その他の用途は農薬・医薬、繊維助剤、可塑剤、特殊インクなどの中間体である。
※昭和電工ではN-メチル-2-ピロリドンを購入して、付加価値をつけて販売している。

価格	700~1,100(円/kg)	備考	
----	-----------------	----	--

競合関係	○溶解力にすぐれた極性溶剤で、ポリイミド樹脂など、一般の溶剤では溶解の困難な材料の溶剤として使用される。
------	--